

JA神奈川県信連の経営方針

【経営理念】

当会は、JAグループの基本的な価値・役割を定めた「JA綱領」を踏まえ設定した次の経営理念に基づき、農業専門金融機関として、かつ、地域金融機関として、組合員・利用者、地域の皆さまに支持されるJAバンクを目指し事業に取り組んでいます。

基本的使命

農業と地域の未来を創る

協同の理念のもと、人とのつながりや自然環境を重視した健全経営を行い、「食」「農」「地域」への貢献を通じ、持続可能な社会を実現する。

ありたい姿

- ▶ 私たちは、農業専門金融機関として、あらゆる取り組みを通じ、農業を支える人々とともに、農業基盤を維持・振興します。
- ▶ 私たちは、地域金融機関として、その時代に合わせた多様な価値の提供により、人々のより豊かな生活と地域社会の活性化を実現します。
- ▶ 私たちは、自由な発想と創意工夫により、常に成長を続けるとともに、ゆとりや働きがいのある魅力に富んだ職場をつくります。

【サステナブル経営の考え方】

上記の経営理念を踏まえ、当会は以下の4点を経営上の重要課題(マテリアリティ)と定義し、経済・社会・環境を意識した持続可能な経営を実践しています。

①農業基盤の維持・振興 ②地域社会の活性化 ③自然環境の保全 ④ゆとりや働きがいのある職場づくり

また、これらの考え方は国際連合が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)との親和性が高く、当会はSDGsに賛同したうえで、その取組方針や取組内容を「SDGs取組宣言書」としてまとめ、発信しています(内容は当会ホームページを参照ください)。

https://www.jakanagawa.gr.jp/sin/about_us/sdgs.html



SDGs17のゴール

JA神奈川県信連の経営方針

【中期経営計画】

大きく変動する環境下においても基本的使命である「農業と地域の未来を創る」を達成し続けるため、令和7年度から令和9年度にかけて取り組む中期経営計画を策定し、この達成に向けた取り組みを進めています。

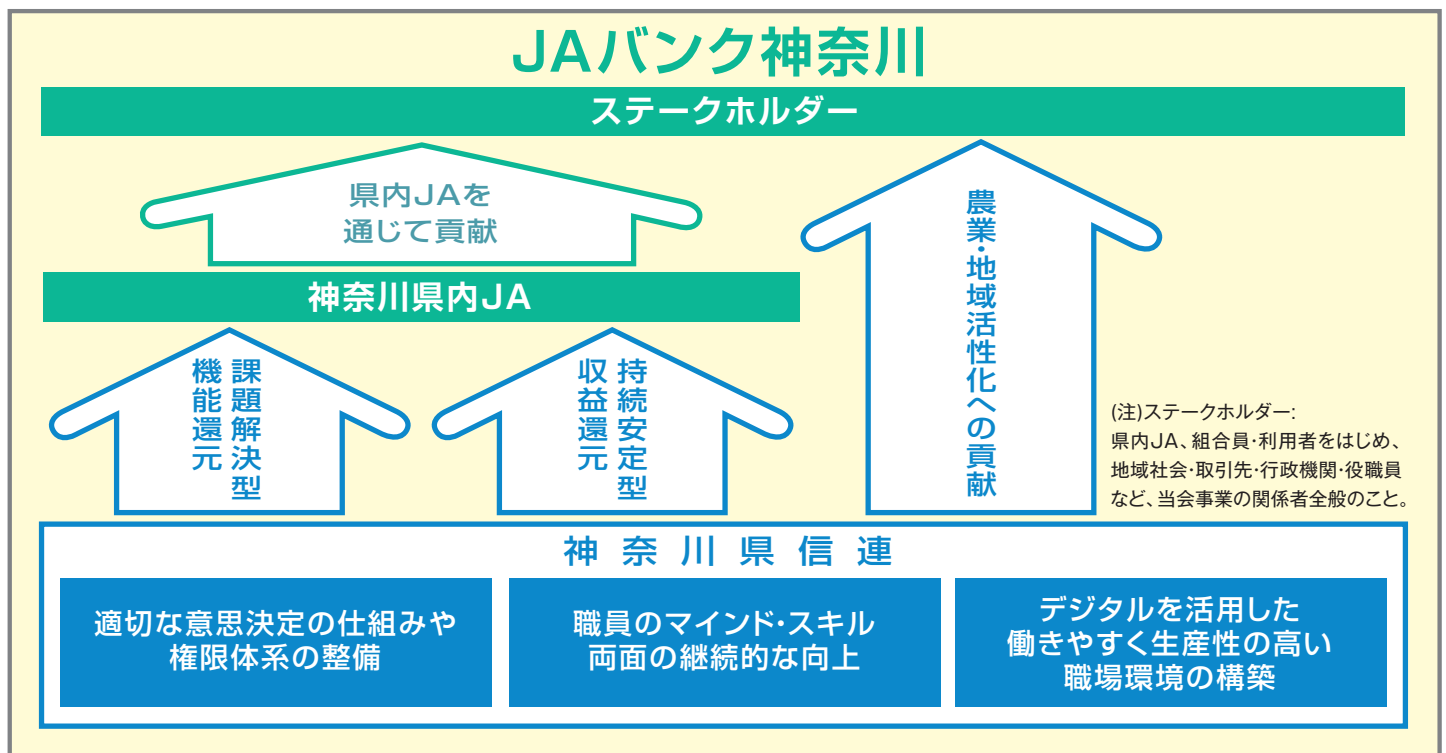
この中では、ステークホルダーに対し提供すべき価値（「課題解決型機能還元」「持続安定型収益還元」「農業・地域活性化への貢献」）やそのための経営基盤強化策（「適切な意思決定の仕組みや権限体系の整備」「職員のマインド・スキル両面の継続的な向上」「デジタル技術を活用した働きやすく生産性の高い職場環境の構築」）を定義しつつ、5つの基本戦略を設定しています。

当計画に基づき、全役職員がステークホルダーに寄り添った事業を展開し、農業そして地域に貢献してまいります。

中期経営計画の詳細については、当会のホームページ（神奈川県信連について）をご覧ください。

https://www.jakanagawa.gr.jp/sin/about_us/tyuki.html

中期経営計画(令和7～9年度)イメージ図



	5つの戦略	目指す姿
提供すべき価値	① 機能還元戦略	●JAが経営戦略として重点的に取り組む事項を把握し、各事業戦略を提案・サポートできる体制が整備できている
	② 農業・地域活性化戦略	●金融・非金融を問わず、農業融資・アグリコンサル・ビジネスマッチング等、農業の活性化に資する総合的なソリューションを提供できている ●地域への直接的な貢献に資する取り組みを模索し、新たな取り組みを展開できている
	③ 収益還元戦略	●環境に応じた適切な調達戦略の策定や機動的な収支・リスクシミュレーションとこれを踏まえた適切な資金投下により、JAへの持続的な収益還元を実現できている
経営基盤強化策	④ 組織・人事戦略	●適切な意思決定の仕組みや権限体系の整備、職員のマインド・スキル両面の継続的な向上により、高度・複雑化する業務へ対応ができている
	⑤ デジタル化戦略	●いつでも・どこでも・快適な業務環境が整備されるとともに、本会役職員のITリテラシーの向上が図られている